

上映映画解説

1954, 10~11

国立近代美術館 フィルムライブラリー



No. 28

Tillie's Punctured Romance

特別映画鑑賞会について

フィルム・ライブラリーでは、その事業の一部として、歴史的価値のある芸術性豊かな映画を鑑賞し研究する会を開催し、現在までに日本をはじめ、ドイツ、フランス、イタリアの古典的な名画を上映しましたが、今回は特別映画鑑賞会第一二回として、初期のアメリカ映画からチャプリンの「醜女の深情」をとり上げました。

この映画はアメリカのキーストーン会社一九一四年の作品で、映画の生んだ天才チャプライン・チャプリン(一八八九-)が、いわゆるキーストーン喜劇で有名なマック・セネットの下に作つた六巻もので、彼として始めての長篇映画として貴重な作品です。

この映画の日本での公開は、一九一六(大正五)年二月中旬、浅草の東京倶楽部で行われました。当時の代表的映画雑誌「キネマ・レコード」の第三三三号(大正五年三月一〇日号)は、次のような紹介文を載せています。

■チーリーの破壊物語(滑稽)(醜女の深情)(六巻特作品)

Tillie's Punctured Romance

Produced by Mr. Mack Sennet.

(中略)田舎娘のチーリーは都へ来てチャップリンからお金を捲揚げられた後捨てられた。チャップリンは彼女の叔父さんが急死した為に遺産相続者になつたと謂ふ新聞記事を見て又チーリーを捨ててチーリーと急婚した。之が為チーリーの復讐がある。難で急死から甦つた叔父さんが帰宅したのでチーリーは元の木阿弥チャップリンは憐や檻倉へ繋がる事となつた。因に申す。マリイ・デウレツスア嬢は六十路を超えた老嬢で成功せる有名な同性の愛の勝利者、熱心なる耽溺者である。(原文のまま)

チャプリンのこと

チャプリンのおいたち

チャアルズ・スペンサー・チャプリンは、一八八九年四月一六日、ロンドンに生れた。父チャプリンは時

事諷刺の俗謡を得息とするベリトオン、母ハンナは芸名をリリー・ハアレイといつて歌姫で舞姫、ともにゴドゲイルの芸人であつた。一家はこの家にひきとられてチャプリン姓となつたハンナの前夫の子シドニイを加えて四人、チャプリンは幼い頃からジグ・ダンスや歌をおそわり、二才か三才の頃、既に優れた天分を示し、母親はそれを自慢した。五才になると病気の母に代つての初舞台で呼売商人の歌を真似て満場の客を唸らせた。

父チャプリンが酒毒のため病没したあとは、母も健康を害し一家は窮乏のどん底におちた。そこでシドニイとチャプリイはハンウエルのレジデンシャル・スクール(貧困者の子弟を保護教育する機関)の寮に収容されチャプリイは、そこで二年間を過ごした。健康を回復した母は賃仕事をひきうけて貧しい生計をたてた。七才になつたチャプリイは「ザ・エイト・ランカシヤ・ラツヅ」に加はり、クロググ・ダンスや物真似芸で人気を得たが、この少年の収入は、ごくわずかで、家計を助けるには足りなかつた。この少年劇団の巡業は一ヶ年半、ロンドンに帰つた彼は、ハン・ボオイス・カレッジに入学、シドニイもサアレイの航海学校に入学した。チャプリイの正式学歴はこれが最後となつたが、貧しい母が多くの犠牲を払つて学校にいれてくれたことを彼は今でも感謝しているといふ。

母ハンナは人並はずれた直観力をもつていて人々を驚かせた。チャプリイの天分もそれを受け継いだものだといわれるが、不幸にも彼女は再び健康を害し、精神異常というので市庁は彼女を公立の施療病院へ送つた。やむなくシドニイは船乗りとなつてアメリカに渡り、チャプリイは、ひとりよりのこされた。彼はコヴェント・ガーデンのマーケット近くの路上で踊つたりして道行く人に喜捨を乞ひ、時には床屋の小僧もつとめが、夜はマーケットの冷たい床か公園のベンチに寝るといふディケンズの物語の浮浪児そのままの姿であつた。

やがて、シドニイもアメリカから帰りチャプリイをつれて俳優仲介業者をたづねまわつた。幸にして一九〇〇年一月には、ロンドン・ヒツポドローム劇場上演

の「ギツディ・オステンド」に出演の機会を掴み、また「フロム・ラツグス・ツウ・リツチェス」という芝居では主役の少年の役を得て地方を巡業した。この巡業から帰るといくばくの貯えも出来て、施療病院の母を適当な保養所に移したが、彼女は正常な精神状態にええなかつた。

やがて、チャプリイにも幸運の日がおとづれた。彼は、H・A・セイントペリーの一座の「シヤアロック・ホームズ」で、オフイス・ボオイ・ビリーの役を得て三ヶ年の旅興行に出、大成功をおさめた。また、同劇団では「ジム・ザ・ロマンス・オブ・コウケイン」のサミー・ザ・ニューズ・ボオイの役や、一九〇四年一月からのデユク・オブ・ヨオク劇場公演では「ピイター・パン」に役を得、今や彼は輝かしい将来を約束された有名な年少俳優の地位を得るにいたつた。

ついで、一九〇五年一〇月、アメリカの舞台の名優でシヤアロック・ホームズを演じて有名だつたウイリアム・ジレットがデユク・オブ・ヨオク劇場に來演した時は、当時アメリカ興行界の大御所といわれたチャアルズ・フロオマンの御眼鏡にかなつて、同公演の開幕劇「ザ・メインフル・ブレイディカメント・オブ・シヤアロック・ホームズ」にビリーの役で出演好評を博した。

この公演終了後、チャプリイは、この一座に加つて渡米を希望したが容れられず、病気の母をかゝえた彼は心ならずも、パアレスタの一座に加つたりした。がやがて、一週四五シリング、一年間の契約で「ケイン・イス・コウト・サアカス」に身を投じた。大劇場出演の夢をなげうつてこんな地方廻りの三流劇団で働くことは若い彼にとつて辛いことにちがひなかつたが、彼の地方巡業における経験や知識は、彼を次第にパントマイムに近づかせた。かくして、フレッド・カーノのパントマイムの一員に加つたのは彼が一七才の時であつた。この一座で彼はイギリス・パントマイムの伝統的演技を身につけた。イギリスのパントマイムには、たとえそれがドタバタ喜劇であらうと、長い伝統の生んだ独特のリズムがあり、特に道化役者の聰明な

身振りには愛すべき風格とスタイルがあり、このパン
トマイム劇団は若いチャアライにとつて、またとない
修業の道場であつた。

カーノ一座は一九一〇年、一九一三年と、二度アメ
リカ巡業をしているが、チャアライがアメリカで大好
評を博した最初の出し物は『ザ・ウオウ・ウオウ』、彼の
映画入りのきつかけをつくつたのは『イギリス・ミ
ュジック・ホールの一夜』であつた。一九一三年五月一
三日、フィラデルフィアのニクスン劇・出演中、彼は
当時キイストン喜劇の総監督でアメリカ・ストラツプス
テイック喜劇の創始者といわれたマック・セネットの
電報に接し、紐育でキイストン映画の社主アダム・ケ
ツセルにあつて映画出演の契約に調印した。チャア
ライがロス・アンゼルス郊外、グレンデル在のキイ
ストン撮影所に入つたのはその年の十二月、そこには、
マック・セネット麾下のストラツプ・ステイツクの珍優
たち、フオード・スタアリング、ロスコ・アパツクル、
チェスタ・コンクリン、ベン・タアピン、それに
名花メエブル・ノオマンドなどの才能が雲の如くあつ
まつていた。

キイストン時代

キイストンでの第一回作品は『メイキング・ア・リ
ング』である。チャアライの扮装は、カーノの『ミ
ュウジック・ホールの一夜』と大同小異、マック・セ
ネットのスピーディなドタバタ喜劇とイギリス風のバ
ントマイム俳優の演技は調和する筈もなくセネットも
ケツセルもこの映画には大変失望したと伝えられてい
る。

第二回作品は『キッド・オオト・レイセス』である。

この映画で後年、誰知らぬものもなくなつた例の山高
帽、窮屈な上着、ダブダブのズボン、ドタバタ、竹のス
テッキ、チョビ髭、そとわの特徴あるひきづり歩きが
初登場した。

第三回作品は、メエブル・ノオマンドと共演の『メ
エブル・ストレンジ・アレディカメント』である。

この映画で、つるつるつとすべつて片足をあげ、ふり
むいて、ちよいと山高をあげて街角を曲るといつた風

の独特のアクションが誕生している。

彼は次第に映画の技法を身につけると同時に、彼自
身の魅力ある個性、イギリス・パントマイム喜劇修練
の成果、それにスピーディなセネット喜劇の技法をた
くみに調和させて独自のチャアリン映画の境地を開拓
して行くのであるが、まだこの時代までは、後年彼が
完成したシムバセテイックなチャアライの姿は無い。
チャアライはキイストンで一週一本の割合で三十五
種の短篇喜劇映画をこしらへたが、その他に一本特作
ファイテニア映画がある。それが、第三十三回目にこ
しらへた作品『テイリース・パンクチュアド・ロマ
ンス』（日本題名『醜女の深情』）で、製作に十四週間
を要したという六巻の大作である。

テイリース・パンクチュアド・ロマンス

この作品は当時、マリイ・ドレセラアが紐育の舞台
で大当りをとつたミュウジカル・コメディ『テイリ
イの悪夢』を映画化したものである。映画の主演者も舞
台と同じくマリイ・ドレセラアで、キイストン専属の
オオル・スタアズが助演にまわつた。紐育封切は一九
一四年一月一日。むろん映画も舞台の成功に劣ら
ず空前の大ヒットであつた。が、こゝで特に記してお
かねばならぬことは、この映画での役は一種の敵役で
あつたにかゝらず、しかも映画入りして一年たらず
で、チャアライは、この映画で示した独自で優秀な喜
劇的演技で確実に主演映画俳優としての地位を勝ち得
たということである。この映画のクレディットは次の
ごとくである。

エンドガア・スミス作『テイリイの悪夢』より
映画脚色 ハムプトン・デル・ルウス
監督 マック・セネット

キャスト

農家の娘テイリイ……マリイ・ドレセラア
都会から来た詐欺師……チャアライ・チャアリン
都会のガール・フレンド……メエブル・ノオマンド
テイリイの父……マック・スウェン

テイリイの金持の叔父……チャアルス・ベネット
レストオランの主人……エンドガア・ケネディ
映画女優……ミンタ・ダアファイ
探偵……チャアライ・マアレイ
探偵……チャアライ・チエイズ

社交界の名士……ハリイ・マツコイ
社交界の名士……チエスタ・コンクリン
其他、ゴオン・グリフィス、フィリス・アレン、
アリス・ダアヴェンポット、アリス・ハウエルなど

略筋

農家の娘テイリイは都会から来た詐欺師のチャア
ライに誘惑されて父親の金子をもち出し、ともに出奔す
る。

都会に出たテイリイはチャアライと贅沢三昧な目を
送るが、そこには恋と慾とのふたまたかけてのチャア
ライの相棒メエブルが居る。メエブルはチャアライに
テイリイのポケット・ブックを盗ませ、ともに行衛を
くらます。テイリイは驚いてさわぐが、誤解されて警
察に留置される。テイリイの金持の叔父があらわれて
彼女をもらいさげると、彼女にあうことは頑として承
知しない。

やむなくテイリイは、あるレストオランに女給仕人
として働く。そこにメエブルとチャアライがやつて来
るので一騒動起きる。

その間、テイリイの金持の叔父は山岳探検旅行の途
上、雪溪のクレヴァスに落ちて行衛不明となる。メエ
ブルとともに公園のベンチに休んだチャアライは新聞
紙上に『農家の娘数百万弗の遺産を相続』という記事
を発見、それがテイリイの事だとわかるとメエブルに
気づかれぬよう其場を逃げ出す。そして脱兎の如くレ
ストオランに駆けつけ有無をいわずテイリイを牧師
のところへつれて行き結婚してしまう。

テイリイは、彼女が叔父の遺産の数百万弗を相続す
ることを弁護士の知らせではじめて知り、チャアライ
の卑劣さを罵るが、ほれた弱味から彼を許す。新婚の

夫婦には、叔父の大邸宅での生活がはじまる。メエ
ブルは、それと知つて、この邸宅に女中として住みこ
む。

テイリイ夫妻は社交界の紳士淑女を招いて大夜会を
催す。華美で陽気な大舞踏会がはじまる。ところが、
はからずもテイリイは、新郎が物蔭でメエブルと相擁
しているのを発見して大騒ぎとなりチャアライをしめ
殺そうとする。そこへ、救出されて無事だった叔父が
帰つて来る。テイリイは幽霊ではないかと驚ろくが叔
父は彼等をこの家から追放する。

テイリイはチャアライの後をビートルをもつて追
う。それとも知らぬチャアライは金の切れ目が縁の切
れ目と再びメエブルにのりかえる。

叔父は警察に連絡、こゝで警官隊の追跡がはじまる。
この追跡は波止場近くでクライマックスに達し、警官
を満載した自動車はテイリイをはねとばし、自らも海
中へまつさかさま。水上警察の船も救命艇と衝突して
顛覆。

漸く救い上げられたテイリイは、メエブルとチャア
ライが争つているところにあらわれ、結婚指輪をつき
かえし、メエブルにむかつて『チャアライはテイリイ
にもメエブルにもいゝ男ではなかつた』と述懐し、二
人の女性は、こゝで互に慰めあう。この有様を見てチ
アアライは、あきらめよく両肩をすぼめ警官にひつた
でられて行く。

キイストン時代のチャアリンの代表作のストオリイ
は概ね以上の如きものであるが、この映画は欧米でも
現在興行的に上映されているようで、その意味ではグ
リフィスの『国民の創生』などとともアメリカ、サ
イレント映画のクラシックのひとつともいえるであ
ろう。

(フィルム・ライブラリー運営委員―牛原彦彦)